

2021年度 インターゼミ多摩学班 中間発表 多摩地域における住みよい街とは

発表日:2021年8月26日 箱根合宿1日目

〈2021年度多摩学班メンバー〉

学部生:加藤/神尾/佐保/白井/坂本/細川/田中/野中/堀井/木村

大学院OB:菊永

教員:長島先生/落合先生/内藤先生

本日の報告内容

1. リサーチクエスチョンと研究範囲
2. 論文目次
3. 「住みよい街」の要素について
4. 多摩地域の産業・生活の変遷と現状
 1. 健康
 2. 生活
 3. 文化
 4. 教育
 5. 仕事
 6. 5分野のまとめ
5. ヒアリング報告
6. 今後のスケジュール

リサーチクエストと研究範囲

〈リサーチクエスト〉

多摩地域における住みよい地域とは何なのか？

〈研究範囲〉



〈7月以降に実施したフィールドワーク〉

実施場所	ヒアリング概要
岡本哲 氏	街の継承、ブランディング
日本総合研究所	幸福度ランキング策定の背景と活用
ハッピーステーションきよぴー/ オレンジハウス	シニアの地域コミュニティ (後期高齢者が後期高齢者を支援)
光工業株式会社	障がい者就労
八王子市役所福祉部	福祉(高齢者・障がい者)に 関する行政の取り組み
株式会社グッドホーム	障がい者就労支援/農福
株式会社三菱地所設計	都市形成(歴史文化街づくり)

論文目次

第1章 研究の趣旨

- 第1節 多摩地域の定義と範囲
- 第2節 多摩地域の現状(研究背景と目的)
- 第3節 調査方法とスケジュール
- 第4節 本論文の構成

第2章 住み良い街の定義と要素

- 第1節 住み良い街に対する見解
- 第2節 住み良い街の定義

第3章 住みよい街に向けた 多摩地域の現状と課題

- 第1節 健康 (白井・堀井)
- 第2節 文化 (坂本・野中・木村)
- 第3章 生活 (加藤・田中)
- 第4節 教育 (神尾・坂本)
- 第5節 仕事 (佐保・細川)
- 第6節 結論と提言

第4章 多摩地域における生活の変遷

- 第1節 多摩地域における産業の変遷
- 第2節 多摩地域における生活の変遷

第5章 住み良い多摩地域についてのまとめと提言

住みよい街を構成する5つの要素

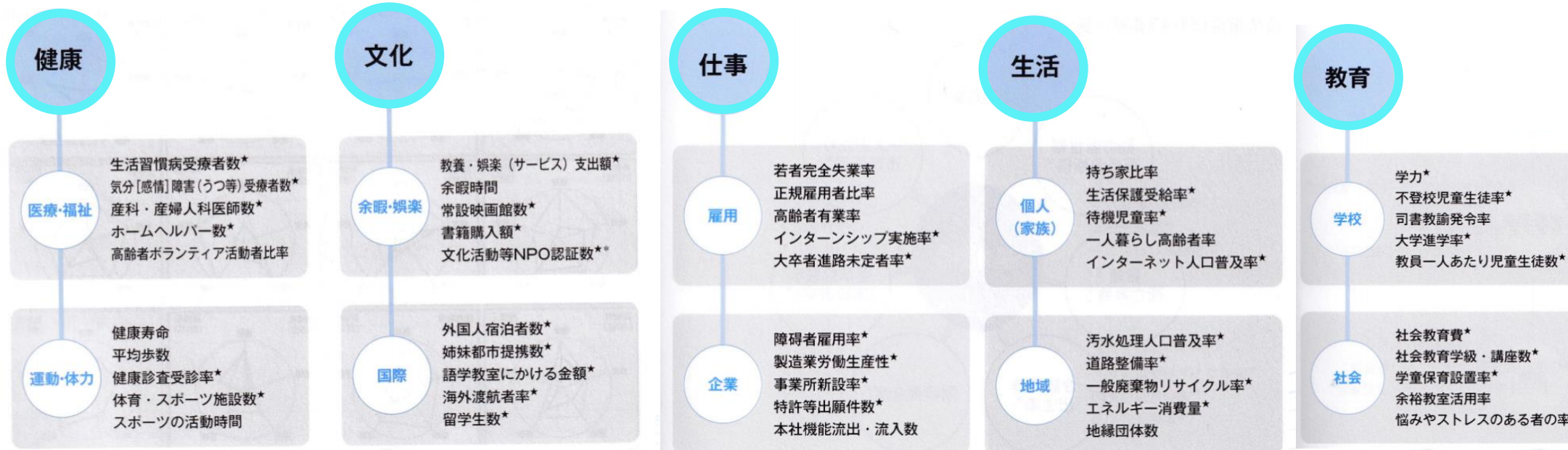
客観的データ

「地域の幸福をどう創るか」を測定



学生が考える
将来住む地域に望むこと

日本総合研究所『全47都道府県幸福度ランキング』8頁引用



日本総合研究所『全47都道府県幸福度ランキング』vi, vii 頁

1.健康（仕事） 福祉→障がい者福祉→障がい者雇用

誰もが持っている「働く」という権利を
平等に実現させるために

住みよい街

=

誰もが差別されることなく
平等に暮らすことの出来る街

現状の多摩は誰もが平等に暮らせているのか
例えば雇用の面から見ると…

〈法定雇用率達成企業〉

都道府県名	実雇用率	(対前年増減)	法定雇用率達成 企業の割合	(対前年増減)	法定雇用率達成企業の数	
全国	2.15	0.04	48.6	0.6	49,956	102,698
千葉	2.12	0.01	51.9	0.3	1,362	2,626
東京	2.04	0.04	32.5	0.5	7,049	21,680
神奈川	2.13	0.04	47.4	0.9	2,280	4,815

障害者雇用率: 47位

幸福度ランキングより

出典: 厚生労働省令和2年 障害者雇用状況の集計結果

3分の2が法定雇用率を達成していない

光工業株式会社(八王子市)

知的障がいを持った女性二人が働いている企業(3年目 & 5年目の方たち)
→集中力と一生懸命働くことに長けている特性があり、**周りを感化させている**
＝仕事内容によってはプラス要素になり、欠かせない存在になる

仕事の見極めと周りの環境が最重要

今後の研究

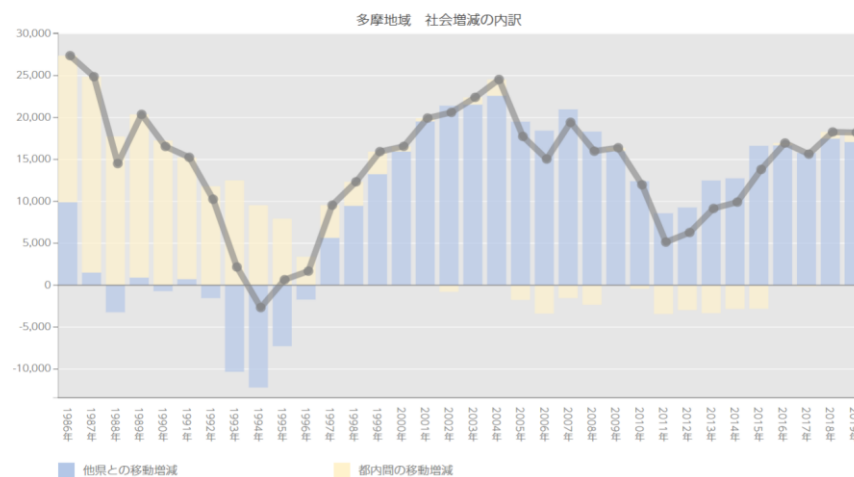
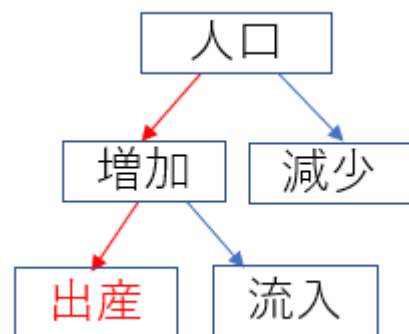
障がい者自身が社会の一員として働いているという実感が持てる環境づくり、
大企業と中小企業が取り組んでいる障がい者雇用の違いについて
研究を進めていく。

2.生活・健康 家族→出産環境

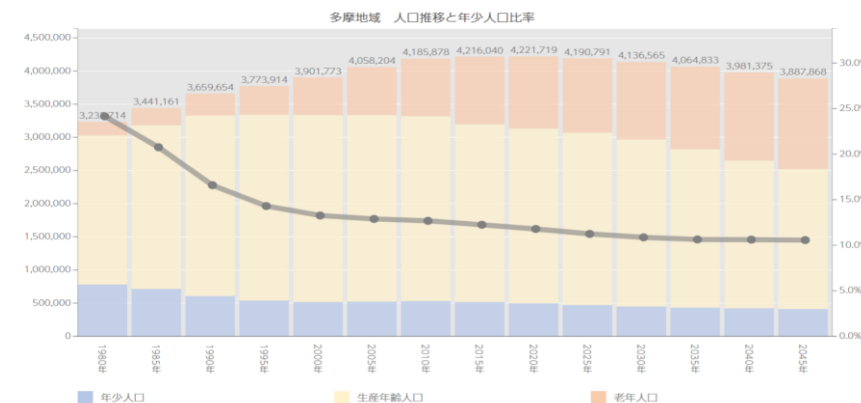
人口の安定的増加

多摩地域の現状

多摩地域 社会増減の内訳



多摩地域 人口推移と年少人口比率



多摩地域の人口は増えているが、多摩地域の出産数は年々減少している
(平均—1000人／1年あたり)

出典：たましん地域経済研究所

2021/8/26

出産環境→子供を産みやすい環境

出産数(人口千対)

(人口千対)	令和元年
全国	7.0
東京	7.6
多摩地域	6.6

「人口動態統計年報(確定数) 令和元年」(東京都福祉保健局総務部総務課)、令和元年(2019)人口動態統計(確定数)の概況を基に作成

多摩地域の出産環境
が整っていない？

妊婦が少ない

出産環境（子供を産みやすい環境）の事例

出産環境関連 事例

熊本県熊本市 福田病院 【10年連続日本1位、日本一赤ちゃんが生まれる病院】

特徴

- ①全県下24時間体制で受入対応
- ②新生児集中医療室を完備
- ③育児困難や特定妊婦や貧困を抱えた妊婦からの相談を受入
- ④ 料金は42万円以内（日本平均：50万円、東京平均62万円）、健康保険の出産一時金だけで利用できる

出産費用（比較）

	出産費
全国	50万
東京	62万
福田病院	42万

多摩地域 出産環境の課題

産科・産婦人科・医師数が少ない（全国45位）

医療体制

出産受入環境を調査と比較

今後の調査方針

多摩地域の出産の補助金や行政サービスを調査

行政支援

3.文化 歴史文化街づくり

住みよい街 $\equiv$ 歴史的建造物との共存できる街

多摩地域は400万人を有する都市空間である



住みよい街は？住みよい都市空間とは？

その
1

超高層ビルが林立する現代的な地域

その
2

住民同士のコミュニティが発展している地域

ビルと歴史的建造物が共存する近代的な都市

歴史文化街づくり

建造物が人々の交流の場に
生まれ変わった事例

超高層ビルが林立する現代的な都市

六本木ヒルズ

- ・職住接近であり利便性が良い
- ・コミュニティが少ない



ビルと歴史的建造物が共存する近代的な都市

国立駅旧駅舎

- ・歴史的建造物とマンションの共存
- ・復元後は活動交流スペースとして活用



歴史的建造物の活用は
人々の交流を生み出し新しい文化を発信する潜在性を持つのではないか

今後検証していく仮説

歴史のある街並みを見て人々は安らぎを得る

人々の心の拠り所としての建造物の価値

人と人を結びつけるコミュニティ空間の役割

4.教育 住みよい街＝誰もが継続的に学習が可能な街

教育

都道府県幸福度ランキング基本5指標の一つ

学校教育

小中高大で行われる
6~22歳の基礎学力を
身につけるための教育。

生涯学習

社会人~リタイヤ後の
生涯学習機関を利用した
自主的な学習。

〈生涯学習の現状〉

創業支援センターTAMA
(民間企業主催)の社会講座が

行政主催の**2.5倍**

2020年度	行政	民間
講座数	33件	83件

創業支援センターTAMA: <https://www.web-tamashin.jp/startup-tama/index.html>
参考に著者作成

学校教育と生涯学習の現状

「教育」における現状と課題 ※都道府県幸福度ランキング「東京都」より

教育 総合10位	学校 6位	学力 5位	不登校 児童生徒率 29位	司書教諭 発令率 8位	大学進学率 2位	教員一人当たり の児童生徒数 46位
	社会 29位	社会教育費 39位	社会教育学級・ 講座数 10位	学童保育設置 率 9位	余裕教室 活用率 20位	悩みやストレスの ある者の率 45位

2021年発行 多摩振興

多摩振興プランでは生涯教育に関して触れていない。
高齢化で重要なはずなのになぜ触れていないのか。

多摩地域の教育の現状 生涯学習

社会教育の事例 明星大学「DESC(DESIGN SCHOOL)」2019

企画力と表現力を段階的に身につけ
社会とつながるデザイン力を発揮させる
ための社会人向けの公開講座

○プログラム構成

- 第1回:本をデザインする仕組み
- 第2回:活版印刷と挿絵本を読み解く
- 第3回:企業文化のあるべき姿をブランド化する
- 第4回:地域でプロジェクトをつくる

○期間:10月26日~11月9日にかけて4回開催

○料金:無料

社会教育の課題

- ・現在調査した範囲では、生涯学習は主に民間で促進されている傾向にある。
- ・今後、少子高齢化などにより私立大学数が減少した場合、総じて生涯学習の機会も減少する課題がある。

今後の調査方針

- ・生涯学習活動を行政が推進している事例を調査する
- ・年齢層別にどのような分野の生涯学習に関心があるのかを調査する。

生涯学習

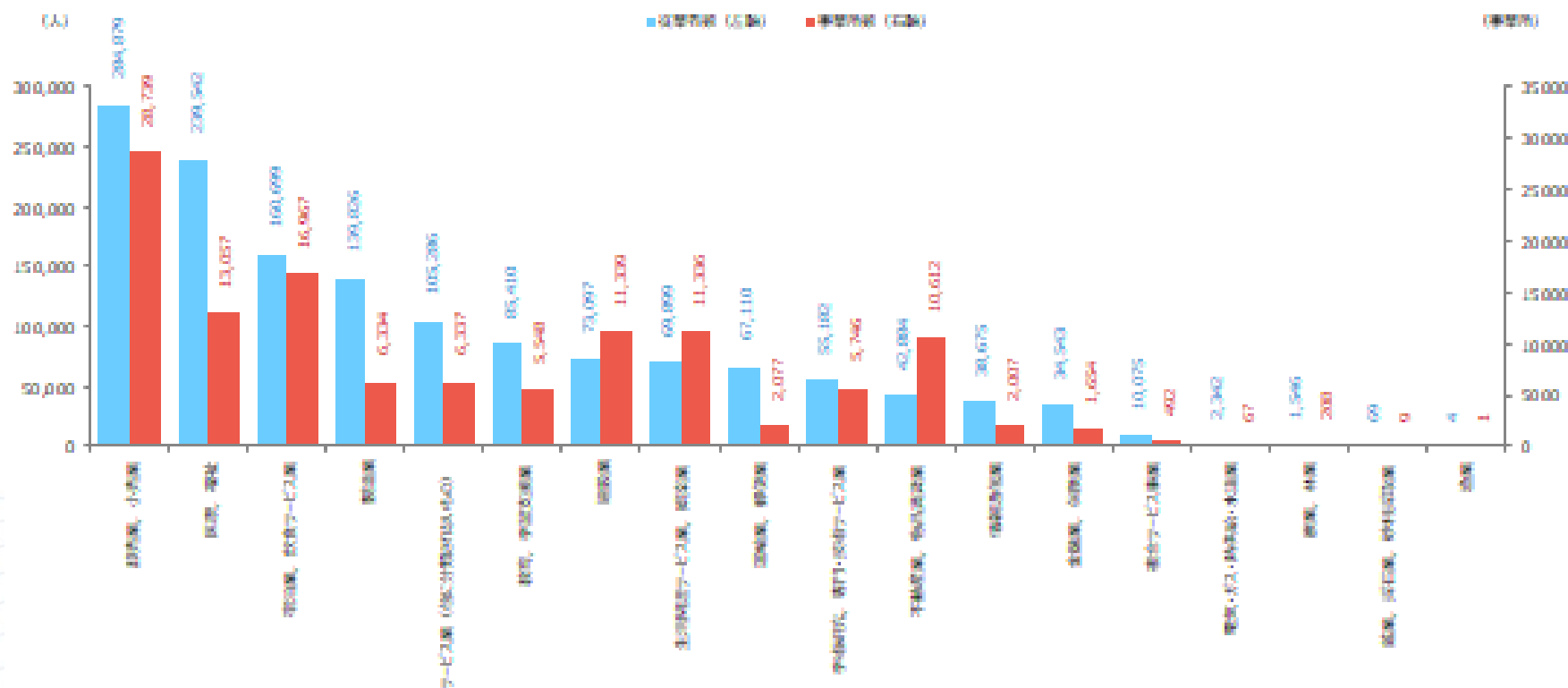
5.仕事

企業→本社機能流出・流入数

住みよい街



強固な産業基盤のある街



企業分野 本社機能流出・流入数(東京47位)

立飛ホールディングス(立川市)

飛行機製造から機械メーカーを経て、現在の不動産開発に至る



業態変化が行われても立川から流出せず
地域貢献を行っている

経営ビジョン「地域社会に貢献する企業」



- 人(Everyone)を幸せにするために存在する企業
- 立川と共に歩む企業
- only oneを目指す企業
- 地域で一番愛される企業

出典: 企業ビジョン | 株式会社 立飛ホールディングス



新街区「GREEN SPRINGS」2020年4月開業
| 株式会社 立飛ホールディングス (tachihi.co.jp)

今後

- ・どのような企業が住みやすい地域を創り上げているかの追求
- ・外部連携意欲の高い企業と大学や企業同士のマッチングの深掘り
- ・地域社会に貢献する企業の取り組み事例の調査

それぞれの分野から想定した住みよい街

住みよい街



健康

誰もが差別をされことなく平等に暮らすことの出来る街

生活

人口が安定的に増加する街

文化

歴史的建造物との共存する街

教育

誰もが継続的な学習ができる環境

仕事

強固な産業基盤のある街

ベッドタウンとしての機能を保ちつつ、
現在の多摩地域では達成できていない、
住民が参画できる自立した街としての検討を進める

今後のスケジュール

実施項目／月	8月	9月	10月	11月	12月
Ⅱ 住み良い街の定義と要素	文献調査、ヒアリングの実施・とりまとめ				
Ⅲ 住みよい街に向けた多摩地域の現状と課題	文献調査、ヒアリングの実施・とりまとめ				
Ⅳ 多摩地域における生活の変遷		文献調査、考察・意見交換			
Ⅴ 住み良い多摩地域についてのまとめと提言			意見交換・とりまとめ		
研究論文					
インターゼミ		毎週土曜日15:50～18:00			
	中間報告 本日				最終報告

参考文献<図書>

1. 日本総合研究所『全47都道府県幸福度ランキング2020年版』 東洋経済新報社、2020年
2. 厚生労働省令和2年 障害者雇用状況の集計結果 : https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_16030.html
3. 地域デザイン学会『地域デザイン No.5: 特集 地域企業のイノベーション』(空海社、2015)
4. 金子淳『ニュータウンの社会史』(青弓社、2017)
5. 上野淳、松本真澄『多摩ニュータウン物語ーオールドタウンと呼ばせない』(鹿島出版会、2012)
6. ウィリアム・J・ミッチェル『e-ートピア』(丸善、2003)
7. 藤後幸生『これからの都市ソフト戦略』(角川書店、2019)
8. アンドレ・アンドニアン、川西 剛史、山田 唯人『マッキンゼーが読み解く食と農の未来』(日本経済新聞出版、2020)
9. 古沢広祐『食・農・環境とSDGsー 持続可能な社会のトータルビジョン』(農山漁村文化協会、2020)
10. 秋津元輝、佐藤洋一郎、竹之内裕文『農と食の新しい倫理』(昭和堂、2018)
11. 帝京大学文学部社会学科「多摩学」執筆委員会『多摩学』(学文社、2015)
12. 広井良典『人口減少社会のデザイン』(東洋経済新報社、2019)
13. 古川一郎『地域活性化のマーケティング』(有斐閣、2011)

参考文献〈図書〉

13. 瀬沼頼子、齊藤ゆか『実践事例にみる ひと・まちづくりーグローバル・コミュニティの時代』(ミネルヴァ書房、2013)
14. 佐藤道彦、佐野修久『まちづくりイノベーションー公民連携・パークマネジメント』(平文社、2019)
15. 岡本哲志『銀座を歩く 四百年の歴史体験』(講談社、2017)

〈論文/レポート〉

1. 佐藤充『産業集積における産学官連携の形成プロセスに関する研究: 広域多摩地域(TAMA)を事例にして』(法政大学地域研究センター、2013年)
2. 財団法人日本住宅総合センター『東京都多摩地域における先端技術産業の新展開と住居地域の形成に関する調査研究(III)』(財団法人日本住宅総合センター、1989)
3. 農林水産省、国土交通省『都市農業振興基本法のあらまし』(2015)
4. 農林水産省『都市農業の優良事例集ー都市農業の特色を活かした魅力ある取組ー』(2019)
5. 東京都総務局行政部振興企画課多摩振興『「新しい多摩の振興プラン(仮称)」素案の概要』(東京都総務局行政部振興企画課多摩振興、2021年)